

現場説明書（技術的事項）

委託名 新市クリーンセンター他浸出水処理施設受変電設備改修工事設備設計委託

1. 現場の状況

① 新市クリーンセンター及び深品クリーンセンター

電力会社より高圧3φ6600Vで受電しものを440Vに降圧し、各機器及び浸出水処理施設へ給電している。

今後当該施設は停止予定。

② 浸出水処理施設

新市クリーンセンター及び深品クリーンセンターの低圧動力設備より3φ440Vで受電している。

今後両クリーンセンターが稼働停止となるため、新たに電力会社よりの受電が必要となる。

設計業務委託特記仕様書(設備)

I 業務概要

1. 業務名称 新市クリーンセンター他浸出水処理施設受変電設備改修工事設備設計委託

2. 計画施設概要

- (1) 施設名称 新市クリーンセンター浸出水処理施設
深品クリーンセンター浸出水処理施設
- (2) 施設の場所 福山市新市町下安井1825
福山市神辺町上御領7300番地13
- (3) 施設用途 水処理施設等

3. 設計と条件

(1) 敷地の概要

- a. 用途地域 第一種住居地域, 近隣商業施設
建ぺい率 1% 容積率 1%
- b. 防火地域 ・防火地域 ・準防火地域 地域指定なし
- c. その他の地域地区 ー
- d. 敷地面積 約 62,644 m²
約 42,300 m²

(2) 施設の概要

- a. 用途 水処理施設
- b. 工事種目 ・新築 ・増築 ・改築 改修
- c. 構造 地下RC造1階 地上鉄骨ALC造2階建て
地下RC造1階 地上鉄骨ALC造2階建て
- d. 規模
- | | |
|------|-----------------------|
| 延べ面積 | 253,394m ² |
| 1階 | 212,000m ² |
| 2階 | 41,394m ² |
| 延べ面積 | 362,91m ² |
| 1階 | 326,31m ² |
| 2階 | 36,60m ² |

e. 附属建物及び工作物

(3) 建設の概要

工事費
本工事の予定総工事費は、新市 10,000,000 円
深品 3,000,000 円程度とする。(金額は税込み)

(4) 設計と条件の資料

設計と条件については、次の資料による。

- ・ 附近見取図
- ・ 配置図
- ・ 既存図面 (PDF)

II 業務仕様

本特記仕様書(以下「特記仕様書」という。)に記載されていない事項は、「公共建築設計業務委託共通仕様書」(平成 31 年 3 月 29 日国営整第 200 号)による。

1. 特記仕様書の適用

特記仕様書に記載された特記事項の中で、「・」印のついたものについては、「◎」印のついたものを適用する。

2. 管理技術者の資格要件

- ・ 建築士法(昭和 25 年法律第 202 号)による一級建築士
- ・ 建築士法(昭和 25 年法律第 202 号)による建築設備士
- ・ 建築士法(昭和 25 年法律第 202 号)による構造設計一級建築士
- ・ 建築士法(昭和 25 年法律第 202 号)による設備設計一級建築士
- ・
- ・

3. 業務計画書

業務計画書の提出については、監督員の指示による。

4. プロポーザル方式等により業務を受注した場合の業務履行

受注者は、プロポーザル方式もしくは総合評価方式により設計業務を受託した場合には、技術提案書により提案された履行体制により当該業務を履行する。

5. 設計業務の内容及び範囲(◎印が委託区分)

(1) 一般業務の範囲

a. 基本設計

- ・ 建築設計
- ・ 構造計画設計
- ・ 電気設備設計
- ・ 機械設備設計
- ・
- ・

b. 実施設計

- ・ 建築設計
- ・ 建築構造設計
- ◎ 電気設備設計
- ・ 機械設備設計
- ・
- ・

c. 設計意図伝達業務

- ・ 建築設計
- ・ 建築構造設計
- ・ 電気設備設計
- ・ 機械設備設計
- ・

- d. 手続き(官公署手続き等)
- ・ 計画通知書
 - 構造計算適合判定手数料
 - ・ 含む ()
 - ・ 含まない
 - ・ 許可申請書
 - ・ 消防用設備等設置計画届出書(消防用設備等免除申請書)
 - ・ 浄化槽設置届
 - ・ 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく届出等
 - ・ 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく認定申請書
 - ・ 景観条例届出書
 - ・ 給水計算事前協議書
 - ・ 排水計画事前協議書
 - 電気容量事前協議

(2) 追加業務の内容及び範囲

- ・ 建築積算
- 電気設備積算
- ・ 機械設備積算
- ・ 透視図作成
- ・ 模型製作及び写真撮影
 - ・ スケール ()
 - ・ 箱の大きさ ()
- ・

6. 業務の実施

(1) 一般事項

- a. 基本設計業務は、提示された設計と条件及び適用基準等によって行う。
- b. 実施設計業務は、提示された設計と条件、基本設計図書及び適用基準等によって行う。
- c. 積算業務は、監督員の承諾を受けた実施設計図書及び適用基準等によって行う。

(2) 打合せ及び記録

1) 中間報告

業務の進捗状況に応じて、次の区分ごとに監督員に中間報告し、承諾を受ける。

- a. 配置，平面計画決定時
- b. 立面，断面，外構計画決定時
- c. 設備計画決定時
- d. 工事費概算決定時（2023年8月末までに報告すること）
- e. 数量計算，工事費積算時
- f. 成果品整理時

2) 議事録

設計に係る監督員及び関係官庁等との協議内容を整理し、議事録として提出する。

3) 監督員との協議

業務の進捗状況に応じて監督員と十分な協議を行う。

(3) 適用基準等

年版のものは、すべて最新版とする。

(※)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修を示す。

a. 共通

- 公共建築工事積算基準(※)
- 公共建築工事共通費積算基準(※)
- 公共建築工事標準単価積算基準(※)
 - ・ 公共住宅建築工事積算基準
 - ・ 公共住宅屋外整備工事積算基準
 - ・ 建築設計基準
- 建築設備設計基準
 - ・ 官庁施設の総合耐震計画基準
 - ・ 官庁施設の総合耐震診断・改修基準
 - ・ グリーン庁舎基準及び同解説
 - ・
 - ・

b. 建築

- ・ 建築工事設計図書作成基準(※)
- ・ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(※)
- ・ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(※)
- ・ 建築工事標準詳細図(※)
- ・ 建築鉄骨設計基準(※)
- ・ 建築構造設計指針（文部科学省大臣官房文教施設企画部）
- ・

c. 建築積算

- ・ 公共建築数量積算基準(※)
- ・ 公共建築工事内訳書標準書式(建築工事編)(※)
- ・ 公共建築工事見積標準書式(建築工事編)(※)
- ・
- ・

d. 設備

- 建築設備工事設計図書作成基準(※)
- 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(※)
- 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(※)
- 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(※)
 - ・ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(※)
 - ・ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(※)
 - ・ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(※)
 - ・ 給水装置標準設計施行事務取扱要綱（福山市上下水道局）
 - ・ 排水設備工事責任技術者講習テキスト（日本下水道協会広島支部）
 - ・ 建築設備耐震設計・施工指針
 - ・

e. 設備積算

- 公共建築設備數量積算基準(※)
- 公共建築工事内訳書標準書式(設備工事編)(※)
- 公共建築工事見積標準書式(設備工事編)(※)
- ・
- ・

(4) 留意事項

1) 共通事項

- a. 設計図書の作成は、別添設計図書作成要領による。
- b. 設計図書の作成にあたっては、原則として特定の製品名、製造所名は記載してはならない。
- c. 各設備との設計内容の調整及び確認を行う。
- d. 本業務は、設計に係る関係官庁等への協議、手続きの一切の業務を含むものであり、監督員と連絡をとりながら処理する。

2) 設計に係る注意事項

設計に際しては、監督員及び関係官庁等と十分な連絡調整を行い、設計条件の明確化を図るものとし、次の点に留意する。

- a. 地盤、構造体、仕上げ及び機器の安全性
- b. 設計物と周囲の環境との調和
- c. 使用上の利便
- d. 維持、管理の容易性、経済性及び各種設備更新時の検討
- e. 費用対効果に留意しコスト縮減を図る
- f. 工事の安全性及び公衆災害の防止
- g. 条件明示(原則として特記仕様書(施工条件)に記入)
- h. 障がい者、高齢者等の利用を考慮し、次の関係法令に適合した設計内容とする
 - ・ 広島県福祉のまちづくり条例
 - ・ 高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
 - ・ 建築物移動等円滑化基準
 - ・ 建築物移動等円滑化誘導基準
- i. 構造に係る注意事項
 構造計画について設計条件を付加する場合があるので、構造計画の方針及び基本事項をまとめた構造計画書を監督員に提示し承諾を得る。
 構造設計条件
 - ・ 地域係数(Z)＝「福山市建築物耐震補強計画立案業務委託仕様書」による
 - ・ 重要度係数＝「福山市建築物耐震補強計画立案業務委託仕様書」による
 - ・ 柱の帯筋：スパイラルフープ(RC造、SRC造)
 - ・ 二次設計(保有水平耐力の検討を含む)

3) 積算にかかる注意事項

工事費、数量積算は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築数量積算基準・同解説」及び「建築設備数量積算基準・同解説」最新版に基づき作成する。

工事内訳書は、(財)建築コスト管理システム研究所の内訳書作成システム(RIBC)又は内訳書数量入力システム(RIBC LITE)によるデータファイルを紙データと合わせて提出する。

- a. 内部仕上げは、各室、外部仕上げは各立面毎に集計する。
- b. 躯体については各階毎(RC造の場合はコンクリート打設工程ごと)に集計する。
- c. 工事費内訳書の単価について、建設物価・積算資料等の刊行物を利用する場合の採用月等の詳細については、監督員の指示による。見積りにより単価を決定する場合は、極力3社以上の見積りを徴するものとし、比較表を作成する。なお、事前に見積依頼先業者名簿を提出する。

d. コスト縮減対策

・ 基本設計時

最適案として選定された1ケースについて、コスト縮減の観点より、形状、構造、使用材料、施工方法等について、実施設計時に検討すべきコスト縮減提案を行う。

なお、この提案は基本設計を実施した技術者が、その設計を通じて得た着目点、留意点等(コスト縮減の観点から実施設計時に一層の検討を行うべき事項)について、実施設計を実施する技術者に情報を適切に引き継ぐためのものであり、本提案のために新たな計算等の作業を求めるものではない。

上記に係る成果は、形状、構造、材料、施工方法等を着目点に整理し、以下の『コスト縮減設計留意書』として提出する。

予備設計の内容	実施設計時に検討すべきコスト縮減提案及び効果	関連する検討事項及び問題点

・ 実施設計時

・ 『コスト縮減設計留意書』に基づき比較検討を行い、監督員と協議の上実施設計に反映する。

・ 監督員と協議の上、検討事項を実施設計に反映する。

4) その他

(5) 資料の貸与及び返却

- ・ 建築工事特記仕様書 (jww 形式)
- ・ 鉄筋工事特記仕様書 (jww 形式)
- ・ 鉄骨工事特記仕様書 (jww 形式)
- 電気設備工事特記仕様書 (jww 形式)
- ・ 機械設備工事特記仕様書 (jww 形式)
- ・ 昇降機設備工事特記仕様書 (jww 形式)
- ・ 工事区分表 (jww 形式)

(6) 提出書類等

- 業務工程表 1部 (14日以内)
- 委任(下請負)承諾願 1部

業務の一部を委任し、又は請負わせようとする場合は、委任(下請負)承諾願を提出する。

- 管理技術者選任(変更)通知書 1部
- 見積依頼先業者名簿 1部
- 設計担当者名簿 1部
- 業務報告書(日報, 調査報告書等) 1部

-
- 業務完了通知書 1部
 - 引渡書 1部
 - ・ 部
 - ・ 部
 - (7) 提示資料
 - ・ 類似の工事の設計図書(A3版) 要返却
 - ・ 類似の工事の完成写真(アルバム) 要返却
 - ・ コスト縮減設計留意書 要返却
 - (財)建築コスト管理研究所の内訳作成システム用データ
(名称ファイル, 金抜き複合単価ファイル)
 - 竣工図面データ
 - ・

(8) 成果品リスト

a. 基本設計

●印が適用範囲

成果物	原図	製本		備考
	部数	部数	版	
1)設計資料		5	A4	
○調査研究企画報告書				
○各種技術資料				
○法令手続きのための技術資料				
2)基本設計図		5	A3	
○仕様概要表				
○仕上表				
○面積表及び求積図				
○敷地案内図				
○配置図				
○平面図(各階)				
○断面図				
○立面図(各面)				
○矩計図(主要部詳細)				
3)基本設計説明書		5	A4	
○計画説明書				建築(意匠)
○基本構造計画案				建築(構造)
○構造計画概要書				建築(構造)
○電気設備計画概要書				電気
○給排水衛生設備計画概要書				給排水衛生
○空気調和設備計画概要書				空気調和

成果物	原図	製本		備考
	部数	部数	版	
○昇降機設備計画概要書		5	A4	昇降機
4)仕様概要書		5	A4	
○仕様計画概要書				
○仕様概要書				
5)積算		1	A4	
○工事費概要書				建築(意匠, 構造), 電気, 機械
6)工程		5	A4	
○工事工程計画書				
7)その他		1	A3	
○透視図(外観)		1	A3	
○透視図(内観)				
○模型				
○リサイクル計画書		1	A4	
○コスト縮減設計留意書		1	A4	
○エネルギー比較検討書		1	A4	
○日影図				

成果物	原図	製本		備考
	部数	部数	版	
8)記録等		1	A4	
○各記録書				

(注)
 建築(構造)の成果物は，建築(意匠)基本設計の成果物の中に入れられることができる。
 電気設備及び機械設備の成果物は，建築(意匠)基本設計の成果物の中に入れられることができる。
 建築(意匠)設計図は，適宜，追加してもよい。
 成果品の製本については，監督員の指示による。
 電子データの提出については，監督員の指示による。

(9) 成果品リスト

b. 実施設計

成果物	原図	製本				備考
	部数	版	部数	版	部数	
1)建築(意匠)	1	A2	1	A4	2	2つ折製本
○仕様書						
○仕様概要表						
○仕上表						
○面積表及び求積表						
○敷地案内図						
○配置図						
○平面図(各階)						
○断面図						
○立面図(各面)						
○矩計図						
○展開図						
○天井伏図						
○平面詳細図						
○断面詳細図						
○部分詳細図						
○建具表						
○外構図						
○その他						
2)建築(構造)設計図	1	A2	1	A4	2	2つ折製本
○仕様書						
○構造概要書						
○布図						
○軸組図						

成果物	原図	製本			備考	
	部数	版	部数	版		部数
○各部断面図	1	A2	1	A4	2	2つ折製本
○標準詳細図						
○各部詳細図						
3)電気設備設計図				A4	3	2つ折製本
●仕様書						
●敷地案内図						
●配置図						
●電灯設備図						
●動力設備図						
○電熱設備図						
○雷保護設備図						
●受変電設備図						
○電力貯蔵設備図						
○発電設備図						
○構内情報通信網設備図						
○構内交換設備図						
○情報表示設備図						
○映像・音響設備図						
○拡声設備図						
○誘導支援設備図						
○テレビ共同受信設備図						

成果物	原図	製本				備考
	部数	版	部数	版	部数	
○テレビ電波障害防除設備図				A4	3	2つ折製本
○監視カメラ設備図						
○駐車場管制設備図						
○防犯・入退室管理設備図						
○火災報知設備図						
○中央監視制御設備図						
●構内配電線路図						
●構内通信線路図						
○その他						
4)機械設備設計図				A4	3	2つ折製本
給排水衛生設備設計図						
○仕様書						
○敷地案内図						
○配置図						
○機器表						
○衛生器具設備図						
○給水設備図						
○排水設備図						
○給湯設備図						
○消火設備図						
○厨房機器設備図						
○ガス設備図						

成果物	原図	製本				備考
	部数	版	部数	版	部数	
○浄化槽設備図				A4	3	2つ折製本
○屋外設備図						
○その他						
空気調和設備設計図				A4	3	2つ折製本
○仕様書						
○敷地案内図						
○配置図						
○機器表						
○空気調和設備図						
○換気設備図						
○排煙設備図						
○自動制御設備図						
○その他						
昇降機設備設計図				A4	3	2つ折製本
○仕様書						
○敷地案内図						
○配置図						
○昇降機設備図						
○搬送機設備図						
○その他						

成果物	原図	製本				備考
	部数	版	部数	版	部数	
ガス設備設計図				A4	3	2つ折製本
○仕様書						
○敷地案内図						
○配置図						
○ガス設備図						
○その他						
5)設計計算書				A4	2	
○構造計算書						
●電気設備設計計算書						
○給排水衛生設備設計計算書						
○空気調和設備設計計算書						
○昇降機設備設計計算書						
○ガス設備設計計算書						

成果物	原図	製本			備考	
	部数	版	部数	版		部数
6)工事費概算書				A4	2	
●工事費概算書						
7)建築積算				A4	2	
○建築工事積算数量算出書						
○建築工事積算数量調書						
○工事内訳書						RIBCデータ
8)電気設備積算				A4	2	
●電気設備工事積算数量算出書						
●電気設備工事積算数量調書						
●工事内訳書						RIBCデータ
9)機械設備積算				A4	2	
○機械設備工事積算数量算出書						
○機械設備工事積算数量調書						
○工事内訳書						RIBCデータ
10)その他	1			A3	1	
○透視図(外観)	1			A3	1	着色額入
○透視図(内観)						着色額入
○模型 スケール() 箱の大きさ()						アクリルケース入
○省エネルギー関係計算書						
○リサイクル説明書						

成果物	原図	製本				備考
	部数	版	部数	版	部数	
○設計説明書（設計意図伝達事項）				A4	3	
●工事概略工程表				A3	1	
○外壁改修調査報告書						
○コスト縮減検討書						
11)各種届出				A4	3	
○計画通知書(※1)						正副
○計画通知図書						正副
○消防用設備等計画書(※1)						
○消防用設備等計画書図書						正副
○認定申請書(※2)(※1)						正副
○建築物省エネ法に基づく届出(※3)						
○景観条例届出						
○給水計算事前協議書				A4	1	
○排水計画事前協議書				A4	1	
12)資料				A4	1	
●各種技術資料						
○構造計算データ						
○法令手続きのための技術資料						
●各記録書等 （関係官庁等の事前協議書を含む）						
●CAD データ(jww)						
●各設計図電子データ （検査合格後）				A1	1	PDF ファイル

- ※1 作成及び訂正を含む。
- ※2 高齢者、障害者等の移動の円滑化の促進に関する法律第 17 条第 1 項の規定に基づく認定申請書。
- ※3 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の規定に基づく届出等

(注)

建築(構造)の成果物は、建築(意匠)の成果物の中に含めることができる。
電気設備及び機械設備の成果物は、建築(意匠)の成果物の中に含めることができる。
建築(意匠)設計図は、適宜追加してもよい。
電子データの提出及び成果品の製本については、監督員の指示による。

(別紙)

設計図作成要領 (設備工事)

委託名称 新市クリーンセンター他浸出水処理施設受変電設備改修工事設備設計委託

- 1 設計図書の作成は、概ね下表によるものとする。ただし、建物内容及び図面構成に応じて併記しても良い。その他必要な図面は適宜作成する。
- 2 図面の大きさはA 1 (550×800) を標準とする。

●印が適用範囲

委託業務分類		設 計 図 書 (縮尺は参考)	
電 気 設 備	● 一 般 図	<ul style="list-style-type: none"> ● 附近見取図, 配置図 ○ 高圧受電設備図, 結線図, 姿図詳細 ● 分電盤, 操作盤, 端子盤, その他 ● 強電, 弱電, 系統図 ○ 電灯コンセント図 ● 動力設備図 ● 弱電設備図 ○ 火災報知設備図 ○ 自家発電設備図, 結線図, 仕様 ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 1/2500 1/600 1/100 1/200 1/100 1/200 1/100 1/200 1/100 1/200 1/50 1/50
	● 詳 細 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避雷針設備図, 姿図 ○ ポンプ室詳細図 ○ 便所詳細図 ● 各部詳細図 ● 各機器姿図, 仕様 ○ ○ 	
給 排 水 衛 生 ガ ス 設 備	○ 一 般 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 附近見取図, 配置図 ○ 系統図 ○ 配管平面図 ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 1/100 1/100
	○ 詳 細 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各部詳細図 ○ プロパン庫詳細図 ○ 勾配図 ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 1/50 1/50 1/30 1/30

委託業務分類		設 計 図 書 (縮尺は参考)	
○ 空調調和設備	○ 一般図	○ 附近見取図, 配置図 ○ 系統図 ○ 配管平面図 ○	1/200 1/100
	○ 詳細図	○ 各部詳細図 ○ ○	1/30
○ 昇降機設備	○ 一般図	○ 附近見取図, 配置図 ○ 系統図 ○ 各階平面図 ○ 断面図	1/200 1/100
	○ 詳細図	○ 各部詳細図 ○	1/30
○ 建築との調整	○ 梁及び壁貫通孔開口部の補強図 ○ 天井の切込み部の開口図 ○ 機器類取付補強図		
● 設計計算	● 計画書 ● 計算書 (2部提出)		
● 仕様書	● 共通仕様書 ● 特記仕様書 ● 諸手続		
● 積算	● 工事見積書	● 工事別の積算明細書 ● 積算集計表	
● 附帯設計	○ 浄化槽	○ 平面, 詳細図	1/20
	○ 附属建物	○ 平面, 詳細図	1/30
	● 屋外設備	● 平面, 詳細図	1/30

<p>●</p> <p>提 示 資 料</p>	<p>● 特記仕様書</p> <p>○ 標準設計詳細図</p> <p>○ 工事区分表</p>	<p>○ 機械設備 No. 1 No. 2</p> <p>● 電気設備</p> <p>○ 昇降機設備 No. 1</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○ 福山市支給品 ○</p>
<p>備 考</p>	<p>1 機器決定等に於ける経済比較の必要なものは、比較検討書を作成する。</p> <p>2 諸設備、機器の取扱い資格者の必要性を調査する。</p>	

設計概要（新市クリーンセンター浸出水処理施設）

1. 浸出水処理施設（以下「施設」という）の電源について
新市クリーンセンター（以下「センター」という）から3φ440Vで受電し、
施設変圧器盤内に設置している変圧器（容量50kVA）により低圧動力（3φ220V）に
降圧している。
（さらにその二次側に低圧動力から低圧電灯（1φ3W110/220V）への変圧を行う変圧
器がある。）
この電源供給先を電力会社へ変更するための設計を行う。
2. 施設の上水及び井水について
 - (1) 敷地門扉付近に、上水を受けるクッションタンクがあり、そのタンクから加圧ポン
プにて、センター及び施設へ上水を供給している。
 - ① 電源
センターからポンプ制御盤へ配線し、供給している。
 - ② 警報
センターで確認できるように、配線されている。
 - (2) 上水の他に井水を施設へ供給するため、井水ポンプを設置している。
 - ① 電源
上水ポンプ制御盤から井水ポンプへ配線し、供給している。
 - ② 警報
なし。
3. 電源ケーブル等撤去工事設計
 - (1) 次の間にある電源ケーブルを撤去する。
センターにあるキュービクル内の送りブレーカー二次側 ⇔ 施設内変圧器盤
⇔ 施設内動力制御盤主幹ブレーカー一次側
 - (2) 変圧器盤内の変圧器（440V-220V）を撤去する。
 - (3) 次の管にある弱電ケーブル（インターホン、警報等）を撤去する。
センター ⇔ 施設
（既存図面あり。）
4. 施設への新規電源送り配線工事設計
電力会社から直接、低圧動力を受電するように引込配線（架空配線）の設計を行う。
 - (1) 引込柱を新設する。
 - (2) 上記(1)引込柱へ引込計器盤を新設する。
 - (3) 次の間の電源配線工事を行う。
 - ① 敷地入口門扉引込柱（新設） ⇔ 施設動力盤主幹ブレーカー一次側
（ア）建物内への既存配線ルートおよび建物内の配線ルートは使用できる。

(イ) 施設への低圧動力の新規配線ルート(引込柱から施設まで)は、樹木と接触しないよう設計する。

(既設の高圧ケーブル敷設ルートは、将来撤去予定。)

② 引込引込計器盤 ⇔ 上水用ポンプ及び井水ポンプ

(4) 電力会社との低圧契約は、主開閉器契約を想定している。

5. 上水・井水系統への新規電源送り配線工事設計

(1) 4(2)の引込開閉器盤からポンプ制御盤への電源配線工事を行う。

(2) ポンプ制御盤の警報信号を7の装置へ接続する配線工事を行う。

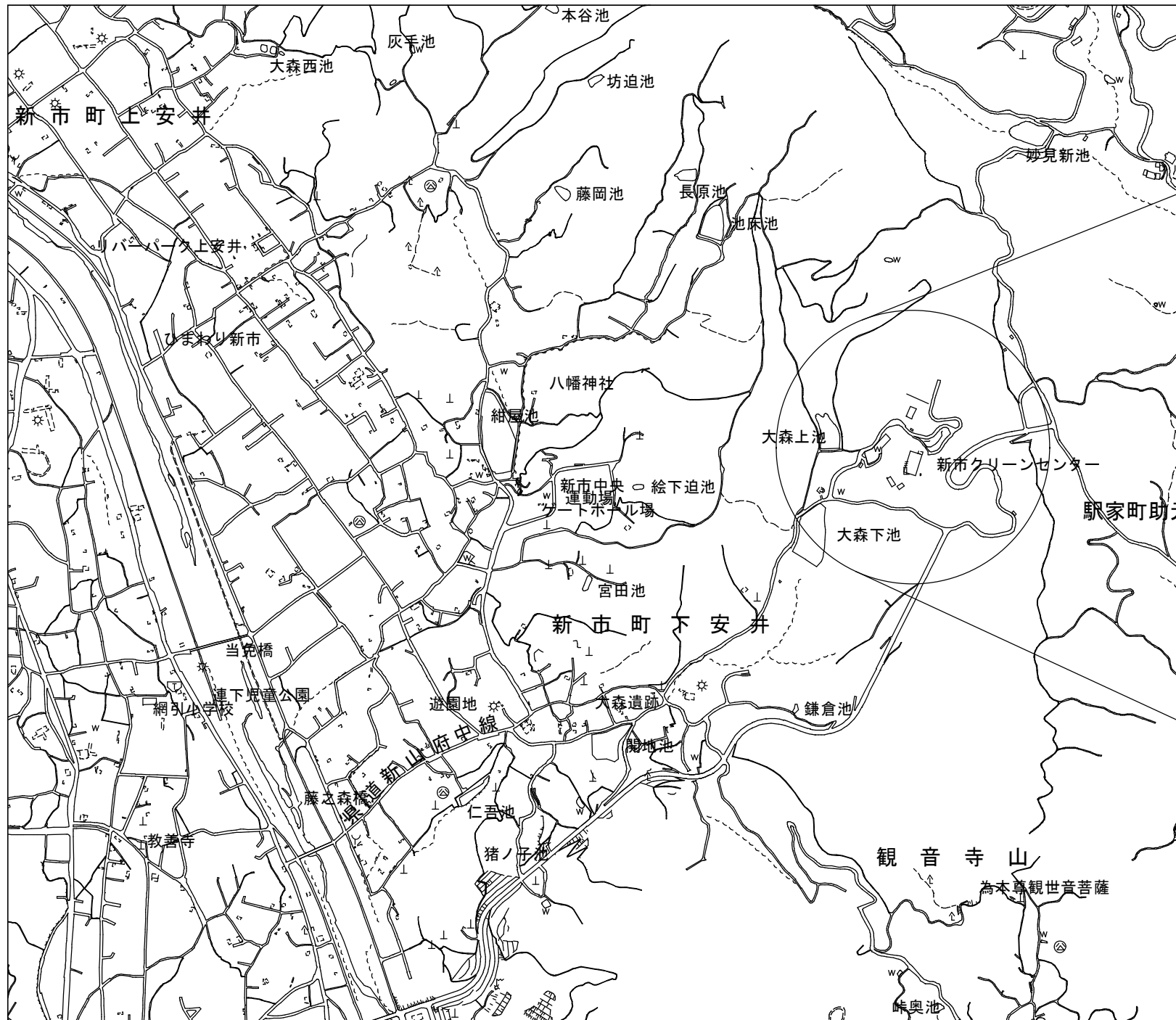
6. 雷対策を検討する。

7. 電話回線を用いて、施設の警報発報時に発信する装置を設置する。

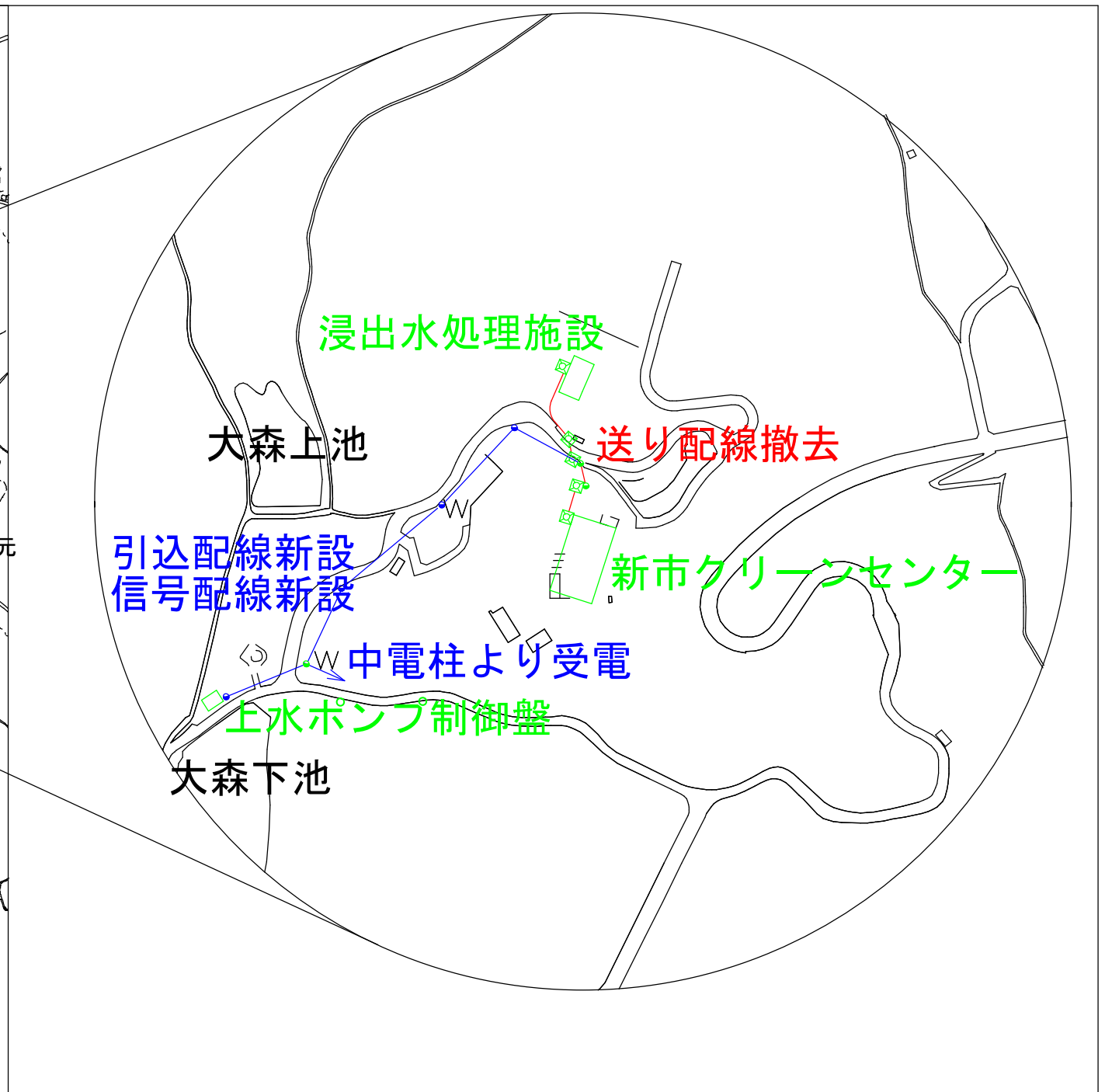
※ 施設の警報は一括警報信号があるので、そこから信号を受信する。

設計概要（深品クリーンセンター浸出水処理施設）

1. 浸出水処理施設（以下「施設」という）の電源について
深品クリーンセンター（以下「センター」という）から3φ440Vで受電し、施設受変電盤内に設置している変圧器により降圧している。
 - (1) 3φ440V-3φ220V（75kVA）
 - (2) 3φ440V-1φ3W110/220V（20kVA）この電源供給先を電力会社へ変更するための設計を行う。
2. 施設の上水について
井水をポンプでくみ上げて、センターで処理したものを、施設へ送水している。
（施設廃止後は、施設への送水はなくなる。送水対応の予定はない。）
3. 電源ケーブル等撤去工事設計
 - (1) クリーンセンターキュービクル内の送りブレーカー二次側 ⇔ 施設内受変電盤各変圧器一次側電源ブレーカー ⇔ 各変圧器 ⇔ 変圧器二次側送り端子台間の電源ケーブルを撤去する。
 - (2) 受変電盤各変圧器2台を撤去する。
 - (3) クリーンセンター ⇔ 施設間の弱電ケーブル（警報等、光ケーブル）を撤去する。
 - (4) クリーンセンター ⇔ 施設間の電柱を撤去する。
（既存図面あり。）
4. 新規電源送り配線工事設計
電力会社から直接、低圧動力を受電するように引込配線（架空配線）の設計を行う。
 - (1) 引込柱の新設
 - (2) 引込計器盤の新設
 - (3) 引込柱（新設） ⇔ 施設変圧器二次側送り端子台間を配線する。
建物内への既存配線ルートおよび建物内配線ルートは使用可能。
 - (4) 電力会社との低圧契約は、主開閉器契約を想定している。
5. 雷対策を検討する。
6. 電話回線を用いて、施設の警報発報時に発信する装置を設置する。
※ 施設の警報は一括警報信号があるので、そこから信号を受信する。



付近見取図

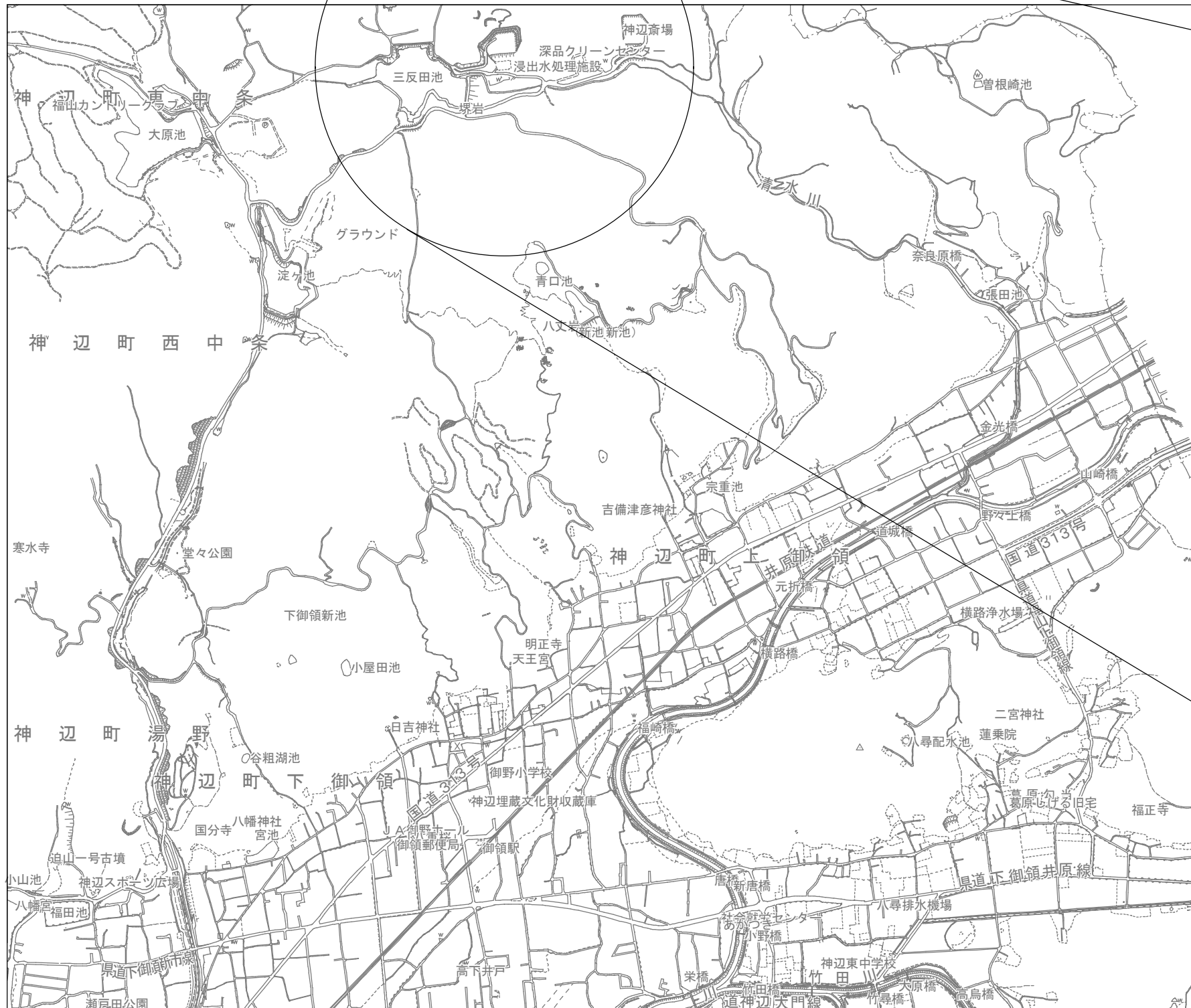


配置図

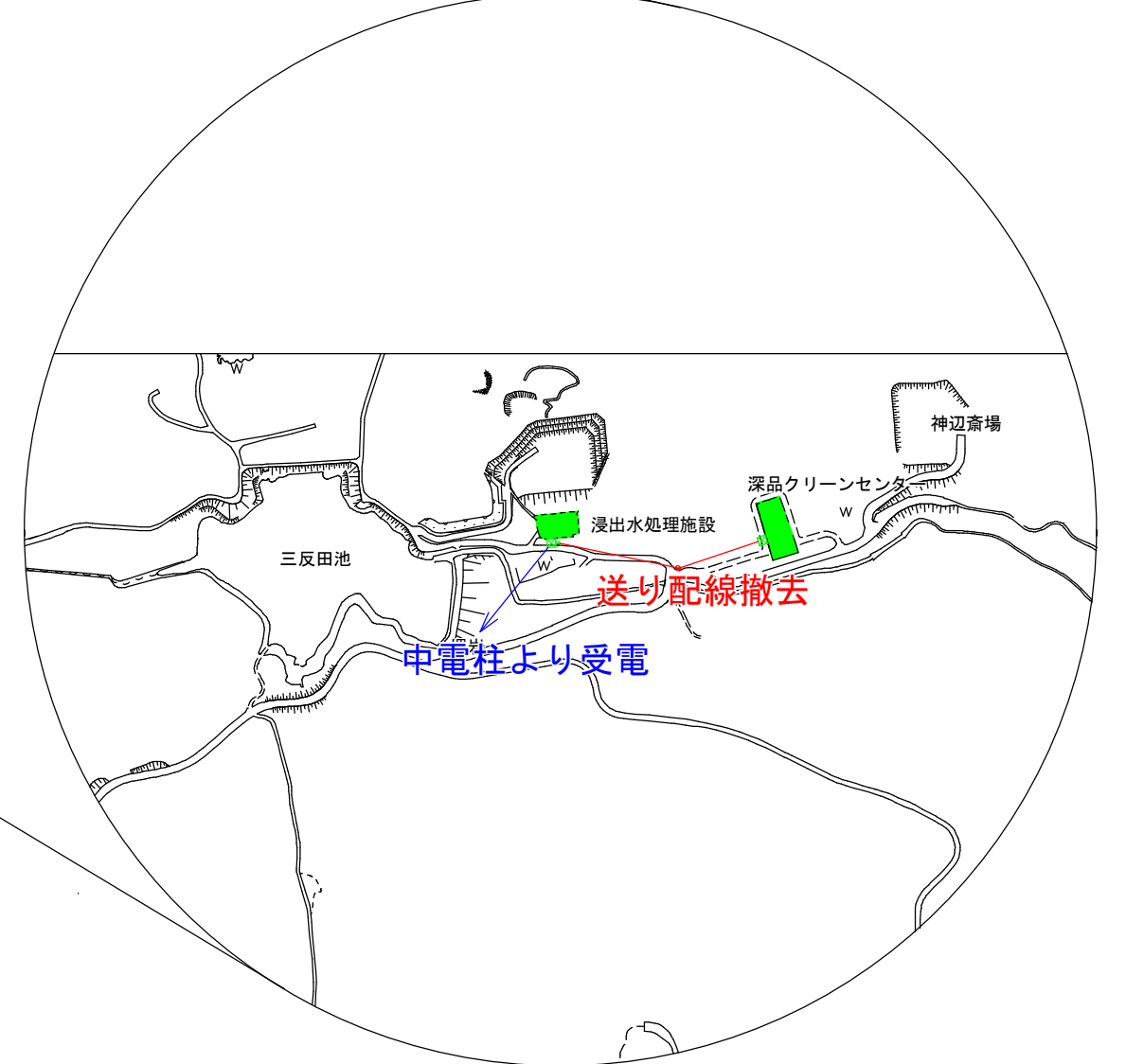
設計概要

1. 新市クリーンセンターより3φ3W440Vで受電している設備を、電力会社より1φ3W110/220V及び3φ3W220Vで受電できる設備に変更する
2. 現在使用していない機器が今後使用できない様に配電盤を改修する。残留機器の名称・数量は別途支持する
3. 電力ケーブル等の敷設に使用している電柱が撤去となるため、布設変更が必要となる
敷設ルートは樹木と接触しないよう検討する。
4. クリーンセンターからの配線及び電柱は撤去する。
5. 雷対策を検討する。
6. 詳細は別紙による。

業 務 名	
新市クリーンセンター他浸出水処理施設受変電設備改修工事 設備設計委託	
図 面 名 称	縮 尺
新市クリーンセンター 付近見取図・配置図・設計概要	S = 1 : 3 0 0 0



付近見取図



配置図

委託概要

1. 深品クリーンセンターより3φ3W440Vで受電している設備を、電力会社より1φ3W110/220V及び3φ3W220Vで受電できる設備に変更する
2. 今後使用しなくなる機器を離線するなど、配電盤を改修する。残留機器の名称・数量は別途支持する。
3. クリーンセンターからの配線及び電柱を撤去する。
4. 雷対策を検討する。
5. 詳細は別紙による。

業 務 名	
新市クリーンセンター他浸出水処理施設受変電設備改修工事 設備設計委託	
図面名称	縮 尺
深品クリーンセンター 付近見取図・配置図・委託概要	S=1:7000

参考数量書

委託名称： 新市クリーンセンター他浸出水処理施設受変電設備改修工事設備設計委託

委託場所： 福山市新市町下安井 1 8 2 5 外 1 か所

※参考業務人日数

14 人・日

特記事項

1. この数量書は参考数量であり，契約後の変更等を合意するものではありません。
2. 参考業務人・日数は，対象外業務比率を考慮した数値であり，参考業務人・時間数を日数に換算した数値です。
ただし，特別経費は含まれておりません。
3. 数量の算出は，「平成31年1月21日 国土交通省告示第98号」の考え方に準じて算出しています。